

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年02月07日

計画の名称	仙台市災害に強い防災安全まちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	仙台市												
計画の目標	岩切地区、富沢地区、愛子地区、仙台駅東地区、富沢駅西地区、田子西地区、荒井地区及び中山台地区において、災害発生時に地域住民等の生命を守るため、仙台市地域防災計画で避難所等に指定されている小中学校等の周辺住民の一時避難地を整備するとともに、通学路等における関係機関が連携した合同点検等、子どもの通学時安全対策を併せて実施することにより、防災性と安全性を総合的に向上させる。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	584	A	584	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29末)	中間目標値	最終目標値 (R4末)
1	小中学校周辺における避難場所の割合を増加させる 全避難場所 = 指定避難所の小中学校からおおむね概ね1km圏内に存する未整備の公園を含む広場等 広場整備を行うことで確保される避難場所の割合（整備済避難場所÷全避難場所）	0%	%	100%
2	小中学校周辺における避難可能者の割合を向上させる 避難可能者数 = 避難場所となる広場等面積 ÷ 1人当たりの避難地面積（2㎡/人） 広場整備を行うことで確保される避難可能者数割合（避難可能者数 ÷ 地区人口）	0%	%	12%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
公文書番号：H30建百公第363-4号												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況								
												H30	H31	R02	R03	R04											
一体的に実施することにより期待される効果																											
備考																											
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	仙台市	直接	仙台市	-	-	地区公共施設等整備(岩切地区, 富沢地区, 愛子地区, 仙台駅東地区, 富沢駅西地区, 田子西地区, 荒井地区, 中山台地区)	避難地(公園・広場)整備(8地区, 計4.8ha)	仙台市							584		-							
											小計							584									
											合計							584									

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	37	38	48	103	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	37	38	48	103	
前年度からの繰越額 (d)	0	21	30	17	
支払済額 (e)	16	30	61	61	
翌年度繰越額 (f)	21	29	17	59	
うち未契約繰越額(g)	21	23	3	28	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	56.75	38.98	3.84	23.33	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補正予算対応のため	補正予算対応のため		先行事業の遅れのため	

事前評価チェックシート

計画の名称： 仙台市災害に強い防災安全まちづくり（防災・安全）

	事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性		○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応		○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性		○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性		○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性		○
II. 計画の効果・効率性 事業効果の妥当性		○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業施行の環境		○
III. 計画の実現可能性 地元の機運		○